



第 89 号

東稲ニュース

早稲田大学校友会東久留米稲門会

平成 28 年 7 月 10 日発行
 発行責任者 安次峰暁
 編集責任者 別処尚志
 E-mail:satoru_ajimine@hotmail.co.jp
 http://higashikurume-toumonkai.com/

会の告知板

【部会予定】

7 月 26 日(火)	ウォーキング部会「御岳溪谷遊歩道を歩く」	09:00	東久留米駅改札口
7 月 30 日(土)	カラオケ部会「カラオケを楽しむ会」	19:30	オンチッチ
8 月 6 日(土)	2016 年度第 2 回役員会	16:00	生涯学習センター
9 月 16 日(金)	女性サークル「築地でお寿司を！」	<詳細未定>	
9 月 23 日(金)	ウォーキング部会「高麗神社 巾着田を巡る」	<詳細未定>	

<各部会定例活動一覧>

部 会	7 月				8 月			
	日	曜	時間	場所	日	曜	時間	場所
女性サークル	6	水	10:30~	中央町地区センター	—	—	—	—
囲碁	24	日	13:00~	成美教育文化会館	28	日	13:00~	成美教育文化会館
俳句	17	日	13:00~	生涯学習センター	21	日	13:00~	生涯学習センター
書道	10	日	13:00~	スペース 105	14	日	13:00~	生涯学習センター
太極拳	2	土	10:00~12:00	成美教育文化会館	6	土	10:00~12:00	成美教育文化会館
	9	土	10:00~12:00	成美教育文化会館	20	土	10:00~12:00	成美教育文化会館
	23	土	10:00~12:00	成美教育文化会館	27	土	10:00~12:00	成美教育文化会館
	30	土	10:00~12:00	成美教育文化会館	—	—	—	—

【大学・校友会関係】

7 月 2 日(土)	早稲田大学商議員会	
8 月 28 日(日)	東京三多摩支部会長会	熊牛会館
10 月 8 日(土)	早稲田大学校友会秋季代議員会	16:00 大隈講堂
10 月 23 日(日)	稲門祭	

会の報告

◎役員会報告 平成 28 年度第 1 回役員会が 6 月 5 日(日)16:00~生涯学習センターにて開催された。

<議事録概要>

安次峰会長より、総会のお礼、ホームページ・会計規則について諸先輩からの意見、及びその対応の説明。清水会計より、5 月末までの会計報告、および、28 年度総会懇親会の収支報告。

1. 大学・校友会・近隣稲門会・三田会関係

- (1) 東久留米三田会総会 4 月 23 日(土) 安次峰、渡辺、懇親会出席者は 40 数名。
- (2) 西東京稲門会総会 6 月 12 日(日) 安次峰、河村出席。

2. 平成 28 年度会員の状況

- (1) 5 月末現在の会員数及び前年度会員の会費未納者状況 28 名。例年より 4~5 名多い。
- (2) 会費未納会員への督促について：文書、ポストマンにより例年通り督促。

3. 検討事項

- (1) 会計規則の変更。
- (2) ホームページ担当者：各部会にホームページ担当者を決めるように再度東稲ニュースで連絡、担当者にパスワード、マニュアルを受渡、活動報告等の記事を掲載する。これでも活用が進まない場合は、研修会を開催。

4. 本年度の行事予定、担当者

- (1) 今年の「秋の旨いもの会」は、バーベキュー大会に。10/15か10/22。
西東京いこいの森公園、責任者は、吉田幹事、渡辺副会長。
 - (2) 新年会の日程は1/28か1/29、責任者は別処副会長、村上幹事。
5. 平成28年度会員名簿印刷について：7月9日(土)18時～東稲ニュース印刷時に（極力参加を）。
6. 稲門祭記念品の販売状況：目標達成。
7. 組織強化補助金20万円の申請について下記4条件の達成が必要。
(1)稲門祭記念品目標は達成済 (2)稲門祭へふるさと賞の寄付(昨年焼酎黒目川20,000円程度)事務局に一任 (3)体育関係部への寄付5万円(昨年ラクビー部、一昨年応援部)、今回は水泳部(オリンピック出場の応援のため) (4)若手校友の招待：10月のバーベキューへ、9月のポストマンで案内
8. その他：安次峰会長より、高橋二代目会長の偲ぶ会（8月7日(日)14：00～16：00）について参加の依頼。次回役員会：8月6日(土)16：00～生涯学習センター。

◎6月25日(土) 15時～17時校友会臨時代議員会 高橋事務局長、小山田事務局次長出席

1. 鎌田会長より挨拶、代議員改選は4年に1度、任期は2016年6月1日より2020年5月31日まで、定員1,400名で1,281人が改選、うち882名が継続、充足率92%で校友は61万人、稲門会数は、海外を含めると1,300になる。

大学の近況として、イギリスの格付機関の話では、卒業生の活躍度で早稲田大学は世界33位、日本国内で1位になる。Vision150での大学の改革、オリンピックへ校友、学生の選出状況、日韓展示会の開催について話があった。

2. 役員改選として、校友会幹事54名、会計監事2名が選任され、代表幹事は福田秋秀氏の3選、常任幹事として、総務：岡本宏一氏、事業：首藤信彦氏、組織：大島正敬氏、財務：萬代晃氏、学報/広報：福田光洋氏、Vision150：菊池哲榮氏が選任された。また副代表幹事職が新設され、萬代晃氏、菊池哲榮氏が選出された。

3. 長門実行委員長より、2016稲門祭への協力依頼、記念品販売状況は、平均52%、大学教職員の販売率が15%と低い。

4. WASEDA' Health Studyについて校友への参加依頼、ホームページ<http://wasedas-health-study.jp>にアクセスしてください。 高橋 哲男記

◎6月26日(日) 東久留米稲門会オリエンテーション

昨年末から今年にかけての新入会員の方々を、一堂に会して稲門会をもっと知ってもらって、行事に参加してもらおうという趣旨で企画してみました。9名が対象でしたが、諸事情も重なり残念ながら3名の参加でした。参加者は男女ともに和気あいあいと楽しく語り、部会活動もすべて知ってもらいました。今回参加の3人は、皆いずれかの部会に既に参加されている方々で積極的に東久留米稲門会での喜びを味わって下さっています。当会への要望もいくつか出していただき、今後の稲門会活動に加えていくことも大いに検討していきたいと思っています。 渡辺真司記

部会報告

<I・R・S (いろいろスポーツ)部会>

4月より、隔週金曜日に6回の活動。さび付いた身体を何とかもとに戻すために、ささやかな抵抗でもでもやっている間は真剣勝負。ここまでの活動をお知らせします。7回の延べ参加人数は48名。

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1、キャッチボール 6人 下里児童公園 | 2、キャッチボール 7人 不動橋球場 |
| 3、卓球 9人 スポーツセンター | 4、卓球 5名 スポーツセンター |
| 5、バドミントン 7人 スポーツセンター | 6、バドミントン 7人 スポーツセンター |
| 7、バドミントン,卓球 7人 スポーツセンター | |

スポーツセンターでバドミントン



「長い間使わないでいてついた、身体の錆を取り除くのが、運動の役目だとつくづく感じた」、と言うのが安次峰会長の感想。今後もその他のスポーツにもチャレンジ予定。体を動かしましょう。多数の参加をお待ちしています。

渡辺真司記

<ゴルフ部会> 4月26日(火) 稲門例会、6月6日(月) 対三田会定期戦

今年の春シーズンは天気予報に一喜一憂しましたが、結果として予定通りに開催できました。



早慶合同ゴルフ会 22名の精鋭

①稲門例会：4月26日(火)美里GC 11名参加。優勝は東海さんがグロス94、ネット72で順当な優勝。2位村野さん、3位平子さんでした。東海さんはハンデイヤップアドバンテージを引き寄せた面もあるものの、三田会との対抗戦を含め過去2年7回のコンペで優勝3回を含め、3位以内6回と大活躍。山口謙二さんが初参加も99で回り、今後の活躍が期待大のデビュー、11人平均グロススコアが100を切ったことなどを特筆しておきます。

②第25回東久留米三田会との対抗戦：6月6日(月)熊谷GC 稲門14名、三田会8名合計22名参加。個人戦は稲門会のエース上原さんがグロス83、ネット69で大会6度目の優勝、2位はグロス89の高スコアで大工原さん、3位東海さんと稲門プレーヤーが上位独占。団体戦も大会が26ポイントという記録的大差で圧勝し5連勝を遂げましたが、通算戦績では11勝13敗1分けとまだ負け越しております。表彰式・懇親会は東久留米駅西口の上海料理店夜来香で、賑やかに和気あいあいに両会の懇親を深め秋の再会を約して散会。今回も稲門諸兄の大健闘をご報告できるのは嬉しい限りです。 伊東 毅記

<旅行同好会> 5月15日(日)～16日(月)「西伊豆を巡り高足ガニを食べるバスの旅」

5月15日(日)、16日(月)、二日間の東久留米稲門会「旅行同好会」第9回旅行会は、西伊豆の海岸線の絶景を楽しみながら戸田で高足ガニを食べ、三島でうなぎを食べるというグルメの旅になりました。

今回の参加者は総勢18名で、5月15日午前7時15分に東久留米市役所前に全員が集合し予定より早めに出発することが出来た。バスは毎回同じ会社の同じ運転手の方が付いてくれて顔なじみになっており、出発時から全員リラックスしていた。



沼津御用邸記念公園にて

バスは新青梅街道から青梅で圏央道に入り、東名高速道を経て沼津インターで降り最初の目的地沼津御用邸記念公園に着いた。沼津御用邸は明治26年、大正天皇が皇太子の時にご静養のために造営され、昭和44年に廃止された跡を記念公園としたもので、中には西付属邸、東付属邸、歴史民俗資料館などがある。一行は有料の西付属邸に上がり、大正天皇、昭和天皇に愛されてきた御殿を見学した。海辺の芝生広場からは雄大な駿河湾が眺められ、楽しいひと時を過ごせた。最後に正門前で全員の写真を撮った。

次の目的地の戸田には海沿いの道は狭くてバスが通れないということで新緑の山の中を走り、時間的



高足ガニ これが一人前です

には少し遅れて戸田に着いた。ここで昼食であるが、昼食は今回の旅の目玉の一つである高足ガニ定食である。大きな皿に高足ガニの足二本が乗っているのは壮観である。刺身も大変おいしく、皆さん大いに食べて大いに飲んで大満足であった。

昼食後は松崎まで右側に伊豆西海岸の絶景を堪能しながら走り、松崎では有名な海鼠壁を見学した。海鼠壁は以前来た時より少なくなっていたように感じた。本日の最終目的地の堂ヶ島には午後4時ごろ着き、遊覧船で約30分のクルージングを楽しんだ。堂ヶ島は西風と波によって

造られた奇岩、絶景に富み、船内からは何回も歓声が上がった。

本日の宿泊は堂ヶ島温泉ホテルで、一行は温泉に浸かり一日の酔いと疲れを癒したのち楽しみな夕食となった。食事会場では「東久留米稲門会御一行様」という横断幕が我々を迎えてくれた。食事は量も美味しさも言うことなしで、旨い料理、うまい酒、楽しい会話で時間の経つのを忘れるほどであった。

二日目は、伊豆の新緑の美しい山の中を三島まで走り“三島の大吊り橋”に行き、希望者は1,000円払って400メートルのつり橋を往復した。天気が良ければ富士山が正面に見えるのだそうだが、あいにくの曇りで富士山は裾野さえ見せてくれなかった。

三嶋大社は日本書紀にも名前が出てくるほど古い歴史のある神社で“三嶋大明神”と称せられている。

堂ヶ島温泉ホテルで参加者全員です



中世以降は源頼朝が尊崇し旗揚げに成功したことにより武士の崇敬を集めた。一行は思い思いの願いを込めて参詣し、境内社殿、史蹟などを見ながら散策した。

昼食は三島で有名な“櫻や”で、名物のうな重を食べるといふ最後の贅沢である。店の外で大勢のお客が順番を待っている位であった。

食後は沼津漁港の市場で最後の買い物をして一路帰途に就いた。途中、近い人を順に降ろしながらバスは午後6時30分無事東久留米駅に着いた。

毎回参加された方には楽しかったと満足して頂き幹事としてもうれしい限りです。次はどこに行こうかな。



堂ヶ島の奇岩

井坂 宏記

<ウォーキング部会> 5月24日(火) 第54回「皇居周遊」

総勢15名(男10名、女5名)の参加を得て、地下鉄東西線の九段下駅から坂を登り始め、田安門前を通り、品川弥二郎、大山巖の銅像を過ぎて、千鳥ヶ淵から反時計回りに皇居の外側に沿って歩を進めた。伊勢志摩サミットの開催日近くの為、出発地東久留米駅を始め、至るところに警察官が目立った一日であったが、ウォーキングの途中では、警備に立っているお巡りさんから「こんにちは」と挨拶され、お上りさんの老人ご一行と見られたらしい、面白い雰囲気体験も出来た。



皇居周遊参加者全員で記念撮影

千鳥ヶ淵は「千鳥」の形をしているため名付けられたと言われている。ここから半蔵濠の堤辺りには桜が植栽され、都内でも有数の桜の名所となっているが、この日は午後に夏日となるという予報であったせいか、既に新緑の葉桜となった木々のトンネルを渡る心地良い風を感じながら見た、千鳥ヶ淵の堀とその先に臨む皇居の緑の土手の眺めが美しかった。途中で、先の大戦で海外における戦没軍人及び一般邦人のご遺骨を納めた「千鳥ヶ淵戦没者墓苑」を参拝した。

江戸城にある門の一つである半蔵門に至る。城の西端に位置し、大手門とは正反対の位置にある。こ

の門内は吹上御苑と呼ばれ、今上天皇の御所、他があり、天皇及び内廷皇族の皇居への出入りにこの門が用いられているが、そういうことが窺われない誠に質素な門という感じであった。半蔵門の名称は、この門の警固を担当した服部正成父子の通称「半蔵」に由来するとする説と、山王祭の山車の作り物の象があまりにも大きかったために半分しか入らなかったことに由来するとする説があるという。

三宅坂を下り、内堀通りを渡って衆議院が管理している国会議事堂前の洋式庭園を訪れ、昼食をとった。ここは、かつて彦根藩の上屋敷があったところで、幕末の大老井伊直弼はここから指呼の先にある桜田門に向かう途中の路上で桜田門外の変に遭った。明治時代になって、初め弾正台、後に参謀本部・陸軍省が置かれ、陸軍省が廃止された戦後に洋式の庭園に整備された。三権分立を象徴するとされる時計塔、参謀本部陸地測量部（国土地理院の前身）があった名残である日本水準原点を見学した。

昼食後、内堀通りを隔てた警視庁の前にある、桜田門を訪れた。江戸城の内堀に造られた国の重要文化財である。進んで、松原つづく外苑の一角に、建武中興の忠臣・楠木正成公（楠公）の銅像を訪ねた。次に、昭和36年に天皇皇后陛下ご成婚を記念して作られ、その後、平成7年に皇太子殿下のご成婚を記念して、大噴水を再整備して作られた和田倉噴水公園では、断続的に短い時間奏でられる噴水芸を楽しみ、ビルの一面にささやかに鎮座する大手町の平将門の首塚を訪ねた。将門の首級は平安京まで送られ東の市、都大路で晒されたが、3日目に夜空に舞い上がり故郷に向かって飛んでゆき、数カ所に落ちたとされる伝承から、近年になり、必ず「帰る（カエル）」にひっかけたご利益があるとされ、左遷になった会社員が元の会社は無事に帰ってこられるように、また、誘拐されたり、行方不明になった子供が無事帰ってこられるように、と供えられた蛙の置物が数十匹数えられた。首塚に関わる将門の祟りという恐ろしい伝承が今もいくつか伝えられているところでもある。

大手門から、サミットの警備の一環として手荷物検査を受けて、皇居東御苑に入った。当地はかつての江戸城の本丸・二の丸・三の丸跡に位置し、少し離れた場所の西の丸を含めた、この範囲のことを江戸城といい、明治時代から戦前までは宮内庁や皇室関連の施設があった。苑内は緑豊かな雑木林、日本庭園や皇室関連の施設、江戸城の遺構などがあり、東京のど真ん中にいることを暫し忘れて散策を楽しんだ。雑木林を透かして見た富士見櫓は、徳川以前に江戸城を建設した大田道灌が、「吾庵は松原つき海ちかく富士の高嶺を軒端にそ見る」と詠んだ場所だといい、往事が偲ばれた。忠臣蔵で有名な「松の廊下跡」はその表示があるだけの、今では雑木と花壇となった地であった。かつては房総半島まで見通したと言われる天守閣は、明暦の大火で焼失後再建されず、天守台として跡地だけが残っていた。

旧本丸(大奥跡)から急坂を下り、二の丸庭園を巡る。下見にきた1ヵ月には所狭しと咲き誇っていたつつじが未だ少し残って、幸運にも暦には少し早く咲き始めていた未だ少ない菖蒲を補っており、池に



国会議事堂前で

咲くコウホネも併せて庭園の散策を楽しむことが出来たのは、花の端境期に当たるのに幸運であった。北詰橋門で東御苑に別れを告げ、江戸時代に江戸城北の丸があった北の丸公園に入り、清水門、日本武道館を経て、現存する旧江戸城建築遺構のうちで最古の田安門を出て出発地の九段下に戻った。約8kmの、坂の登り下りもあるウォーキング、お疲れ様でした。例によって東久留米に帰って、打ち上げを行った。

東海俊孝記

<野球早慶戦観戦部会> 5月29日(日) 第2戦観戦記

東久留米駅改札10時30分集合、3代目帆角会長・山口氏そして私(大矢)の3名が定刻通り出発。

「4位・5位決定戦だしね」「今年は打てないね」とのマイナスの発言を繰り返しながらも、伝統の早慶戦に向かう気持ちは昂ってまいります。

国立競技場前を下車、今は無き国立競技場、日本青年館跡地を通り、神宮球場へと進み、まだ、空席が多い1塁側一般内野席に陣取りました。前日の敗戦のイメージのためか、バッティング練習を見ても、「前に飛ばないね!」「慶応の方が迫力あるね!」とのマイナス発言がまたも繰り返されます。しかし、試合はわからないもので、慶応岩見選手のツーランホームランで先制されたものの、早稲田4年のエース竹内投手が見事慶応打線を3点に抑え、貧打と呼ばれた早稲田打線も我々の「喝!」の声が聞こえたのか、3本のタイムリーヒットで7点を奪う好ゲームとなり、1勝1敗のタイに持ち込むことが出来ました。



この日は30度近くまで気温が上がる中、一滴の水も取らず、日焼けの痛さにも耐え、東久留米西口駅前での祝杯を楽しみに待ちました。いきなり、生ビールを6杯注文し、一気に飲み干し、その後は楽しい歓談の花が咲いたのは、言うまでもありません。

秋のシーズンには「優勝」という2文字が加わることを祈念して!!

大矢真弘記

<女性サークル> 6月22日(水)「鶯谷散策と笹乃雪ランチ」

梅雨の候、雨のち霧雨のち曇りという悪天候の下で鶯谷散策を決行いたしました。子規庵と書道美術館をみて、「笹乃雪」での豆腐料理に舌鼓を打つ。この企画を提案して下さったのは榎本幸子姉、皆様へのお知らせは吉川明美姉から形式をそっくりまねさせて頂きました。ありがとうございました。



笹乃雪にて

皆様大変興味深い知性を満足させる知識を得て、楽しい時間をお過ごしくございました。「笹乃雪」に着いた頃には空腹になり、運ばれてきた豆腐料理をさらに美味しくいただきました。もう一度、子規庵や書道美術館にゆっくりと来てみたいという声が多く聞かれました。

石寺美弥子記

<囲碁部会> 6月4日(土)「オール早稲田囲碁祭」

6月4日に日本棋院で、第16回オール早稲田囲碁祭が開催されました。この囲碁祭は首都圏稲門会の団体戦で、1チーム5選手によるハンディ戦です。また、並行して級位者個人戦も行われました。

東久留米稲門会囲碁部は西東京稲門会と協力して2チームを結成しましたが、更に人員不足となり、柏稲門会に応援を依頼して、B、D、クラスに各1チーム出場しました。両クラスとも、予選を2位で通過し、順位決定戦に勝って、3位になりました。近年低迷していた成績が、やや持ち直した感じですが、秋の稲穂会その他の棋戦で更に力を入れたいと思います。

今後の囲碁部会の活動は、毎月第4日曜日の月例会と、変わりありませんが、今年は7月17日(日)に開催される、「第35回大学親善囲碁大会」に、わが稲門会より苧草、栗林の2名が参加予定です。この大会は昨年まで「大学教職員親善囲碁大会」として開催されてきましたが、参加者減少で今年から教職員だけでなく大学卒業生も参加可能となりました。昨年参加の早稲田、東大、慶応、明治、電気通信大、東京都市大、工学院大、東京農工大、芝浦工大、神奈川工科大に加え、今年から、日大、横浜国大、一ツ橋大、東京工大、埼玉大等が復帰参加予定とのこと。早稲田と東大の参加者が多いそうです。

9月には首都圏OBによる囲碁個人戦「稲穂会」が開催される予定です。この大会は早大囲碁部の現役学生も若干参加して、ややレベルの高い棋戦になります。詳細は決まっていますが、東久留米西東京合同の囲碁部会から何名か出場することになると思います。

現役大学生では、関東大学囲碁春季リーグ戦において、早稲田大学は、一般一部、女子一部ともに全勝優勝しました。一般一部は本年入学した新人2選手が7戦全勝し、優勝に貢献しました。

苧草正守記

第16回オール早稲田囲碁祭



東久留米・西東京・柏チームの熱い棋戦

<俳句部会>

第190回句会 5月15日(日) 於:生涯学習センター
兼題「初夏」「カーネーション」

紫木蓮風に負けじと空に吠ゆ	藤田貞夫
初夏の風に言葉のある如く	松田博雄
初夏の気球富良野の森の上	藤田貞夫
こいのぼり立てて風切る三輪車	片平るみ
ニナガワといふ名残して初夏に逝く	川島知子
みちのくの海に捧げるカーネーション	藤田貞夫



第191回句会 6月19日(日) 於:中央町地区センター
兼題「梅雨晴間」「胡瓜」

桑の実の熟れて名残りの絹の里	川俣栄一
地下鉄を出ればまぶしき梅雨晴間	松田博雄
つつましく生きて今あり花菖蒲	川島知子
散歩する歩数を倍に梅雨晴間	松田博雄
三点句以上	片平るみ記



部会だより

<ウォーキング部会> 7月26日(火) ウォーキング(第55回)

「御岳溪谷遊歩道を歩く“盛夏に涼を求めて”」 (*山歩きの会と合同)

日時：7月26日(火) *雨天の場合：8月2日(火)に延期

集合：9:00 a.m. 東久留米駅改札口 ☆途中参加の方は事前に連絡を!

歩行距離：5~6km程度 (途中の最寄り駅でリタイア出来ます)

**事前申し込み不要

JR軍畑から、整備された、平坦な、木陰の、川沿いの道を歩く。(涼しく、爽やか)→楓橋(対岸に寒山寺、小澤酒造)→鶴の瀬橋→御岳小橋(昼食)→御岳橋**★ **対岸の玉堂美術館は希望者のみ(入館料500円)★帰りは坂を登りJR御嶽駅から。疲れた方はここで待っていても良い。更に上流の杣の小橋、神路橋まで歩き、御岳橋に戻るケースもある。

費用：参加費100円 (部会補助金を原資として値下げ)

交通費：(往642円+復687円=1,329円)、飲食代は自己負担

連絡先：東海俊孝 電話473-8566 e-mail:toshi-tokai@kvj.biglobe.ne.jp

別処尚志：電話475-1710 e-mail:t_bessyo@jcom.zaq.ne.jp

※今後の予定：9月23日(金)(高麗神社、巾着田を巡るハイキング：8.5km)

↑彼岸花の開花予測より、当初20日の予定から変更



東海 俊孝記

<カラオケ部会> 「カラオケを楽しむ会」のご案内

恒例の、夏の「カラオケを楽しむ会」のご案内です。今年も下記のとおり開催いたします。ご発声は、健康にきわめて効果があり、そのうえ気の置けない仲間と楽しく過ごせますので、将に一石二鳥です。歌の巧拙は全く関係ありません。どうぞ奮ってご参加ください。

記

1. とき 平成28年7月30日(土) 午後7時30分
2. ところ オンチッチ 市内東本町1-9
TEL: 042-477-7333
3. かいひ 4,000円
4. ご連絡 高柳康夫 TEL: 042-473-3559
携帯 090-8741-8424
E-mail: y-takayanagi@watch.ocn.ne.jp

※ ご参加の方は、7月29日(金)までに、必ずご連絡いただきますようお願いいたします。



高柳康夫記

東稲広報室

<入会> 新入会：菱山玲子、 <退会> 桜庭明、宮井威 (敬称略)

<平成29年新年会> 2017年1月29日(日)13:00~会場予約いたしました。

<総会懇親会(4月17日開催) 特別会計の収支報告>

総会懇親会(4月17日開催) 特別会計の収支を報告します。

[収入] 懇親会会費(51名)…153,000円、 [支出]・飲食費…153,352円、・会場費(什器・備品含む)など…16,782円、 【収-支】…▲17,134円 ※不足額は本会計「イベント補助金」から補填。

※祝儀2万円は本会計に計上。

(会計 清水幹事より)

＜各分会 ホームページ担当者選任のお願い＞

各分会で、ホームページ担当者の選任をお願いいたします。
7月末までに分会長の方は、事務局（高橋・小山田）まで、
申告をお願いいたします。

昨秋に新しいホームページが完成し運用が始まっていますが、
現状、日々の新情報の更新がまだ、少ない現状です。各分会の
活動報告や活動予定を、ホームページに掲載して活発な情報
発信を行い、既存会員や、これから会員になる校友の皆様
に活動内容を伝え、新会員の獲得につなげていきたいと思っています。よろしく
お願いいたします。



（会員リレーエッセイ）

～噴水広場～

「“気遣うこと、気遣われていることの安心感”～ 老年問題の視点から」

長束 輝夫（50年 政経）

◆ある著書からのヒント

前号で紹介した「子どもが育つ魔法の言葉」（ドロシー・ロー・ノルト著、PHP刊）をヒントに、私は、「子どもに限らず人が精神的に安定した状態を保てる環境こそが、成長や幸せの前提となること。」「その環境とは家庭、学校、会社、介護施設など様々だが、どんな環境であるにせよ、コミュニケーションツールとしての言葉という媒体や行動を通じ、相手を見つめ、認め、理解し、誉め、愛し、気遣っていることを相手に感じてもらえることによるのみ、双方向で安心感を共有でき得るもの。」との考えを強く抱くようになりました。

実はペットのワンちゃんや感受性の強いイルカと人との関係性にも言えることかもしれません。

◆「老年科医」の友人からの話

高校時代からの友人に、小児科とは違って日本では極めて数少ない「老年科」（老人に特化した統合ケアと医療の専門科）の研究者であり実践家でもある人物がいます。彼は以前、東京都主催の認知症シンポジウムで基調講演をしたことがあり、病院と研究所を擁する某センターの副所長も歴任しました。彼から興味深い話を聞きましたので紹介します。彼が関わった某有料老人ホームでの話。

入居している上品そうな高齢の或る女性に対する施設の医師・スタッフの所見は「心気症」、「攻撃的」、「高圧的・利己的」。これに対する彼の見立ては、「本人の不健全さに引きずられてスタッフも不健全に陥っている」。ご本人は「老いの受容の困難さ」プラス自律神経障害に。

そこで彼が採った処方箋は、「スタッフによる一方的な決め付けと説得ではなく、まずは受け容れにくいことでも双方向で共有すること。」を鍵に、全スタッフに対し当事例をケーススタディとして原因の理解と対応策を具体的に指導。結果として、その女性自身が「自分は理解されていること、認められていること、気遣われていること。」に気づき、諸症状は沈静化した。これを機に施設スタッフは成長し、入所者とのコミュニケーションは深まり、入所者とスタッフとも安心できる環境を醸成できた。」というサクセスストーリー。

この話を聞いて私は、「冒頭の考えは正しい。」との確信を持つに至りました。

◆父の自宅看取りと母の介護

私事で恐縮ですが、2011年、父は西東京市の某病院に入院中に第4ステージの胃癌であることが判明。それ以前から自宅での終末を望んでいました。他方、これ以上の改善治療は見込めない患者に対

し医師は経営上の観点からも早期退院を促してきました。そこで今後のエンディングに向けたカンファレンスを求めたところ病院の地域連携担当者のアレンジで、担当医師、看護師、ケアマネ、リハビリ担当者などが参集してくださり、目的達成のため複合的に、「コーディネーターとしての地域包括支援センターの活用」、「家族ができる自宅での医療行為の訓練」、「緩和ケア病棟（ホスピス）の紹介」、「訪問医師と看護師の紹介」を受けました。その後、清瀬市にあるホスピス2ヶ所に申込み、いつでも入所できるように手配した矢先に、父は意思通りに、呼び寄せた孫たちや家族に囲まれ、好きな「新世界」の曲が流れる中、息を引き取りました。前日まで認知症状もなかったのが医師を含め多くの方々が自分に関わってくれたこと、家族が最善を尽くしていることを知っていました。また残された家族も、父が幸せそうに旅立っていったことに悔いはありません。

母は現在、所沢市の素晴らしい「老年医」に「かかりつけ医」として月1回の診察を受け、しっかりと気遣っていただいていることを実感する一方、西東京市の施設のデーサービスに毎週、通っています。

◆実は介護・医療環境に恵まれている東久留米

父母の介護体験を通じ、私たちは都心に集中する大病院に勝るとも劣らない介護・医療環境に住んでいるのだ！ということに認識できました。私事を敢えて披歴させていただいた理由はそこにあります。

高度先進医療が必要な場合は域内の病院に頼ることはやや難ありとしても、老後の質の高い生活（Quality of life）の維持や、終末を支える環境が実は此の地に整っているということに再認識できないでしょうか？ 私自身は人や物事を悪い面から先に捉えるのではなく、良い面を探すことに強い関心を持つ人間なので、余計に鼻屑目に見えるかもしれませんが……。

◆「東久留米稲門会」のミッション

人口構造の逆ピラミッド化に伴う社会保障制度の課題に対応するため、政府は今後の医療介護の提供体制の将来像の2本柱として「医療提供体制の充実と重点化・効率化」と「地域包括ケアの実現」を目指しています。後者の前提となる「地域包括ケアシステムの確立」とは、日常生活圏内において、医療、介護、予防、住まいが切れ目なく、継続的かつ一体的に提供されることです。

実は、我が「東久留米稲門会」の活動はその理念の実践、特に予防活動そのものではありませんか？ 従来からの部会活動、新たに発足した「I・R・S（いろいろスポーツ）部会」は立派な担い手です。

入会し活動に参加させていただいて3年。私はこの会の良い点、素晴らしい点、強みは、同じ学び舎で過ごした1点の共通点を基に、会員相互が正に“気遣うこと、気遣われていることの安心感”と“居心地の良さ”を共有できていることにあると思っています。

こんな観点も、新入会員増強のポイントとしてアピールできるのではないかと思います。また、両親の介護体験を通じて得た「介護保険制度の仕組みを理解し、能動的に活用する」というノウハウ情報は、会員の皆様に提供させていただきたいと思います。固有名詞は記載しませんが、もし、介護に直面され、何らかの情報が必要なら、ダメ元で気軽にご一報いただけましたら幸いです。

長束（なつか） 携帯：090-4747-5347

<編集後記>

7月7日は小暑、22日が大暑、梅雨明け、土用の入りもそのころ、土用と言えば土用の丑の日に食べるウナギ。ウナギ以外にも「土用しじみ」「土用餅」「土用卵」があるようで。

さて、今春発足したI・R・S（いろいろスポーツ）は、キャッチボール、卓球、バドミントンを各2回実施することが出来、順調に成育・生育(?)しつつあります。ウナギは高いのでしじみ、餅、卵を食べて、暑い夏を乗り越えたいものです。
